

- 問1 アメリカ合衆国の人口構成や社会の変化について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。(2019年 佐賀公立入試 類似)
1. メキシコなどの近隣諸国からスペイン語を話す移民が流入し、生活圏において英語とスペイン語が併記されるなどの文化的な影響が見られる。
  2. 北極海沿岸に住む先住民が急増し、彼らが建設現場や農業の主役となったことで、スペイン語が公用語に近い扱いを受けている。
  3. ヨーロッパからの移民が大幅に減少したため、かつて広がっていたスペイン語はほとんど話されなくなり、英語のみが公用語となっている。
  4. 南米諸国からの移住者が、自分たちの伝統的な狩猟文化をアメリカ全土に広めたことで、食料自給率が飛躍的に向上した。
- 問2 アメリカ合衆国では、地形や気候などの自然環境に適した作物を栽培する「適地適作」が行われています。南東部から南部にかけての地域において、特に生産が盛んな作物とその地域を指す呼称について述べた文として、正しいものを選びなさい。(2018年 大分県公立入試 類似)
1. 温暖な気候を利用して綿花の栽培が盛んに行われ、コットンベルトと呼ばれている。
  2. 広大な平原で小麦の栽培が盛んに行われ、コーンベルトと呼ばれている。
  3. 冷涼な気候を活かして乳牛の飼育が盛んに行われ、酪農地帯と呼ばれている。
  4. 肥沃な土壌を利用して大豆の栽培が盛んに行われ、小麦地帯と呼ばれている。
- 問3 アメリカ合衆国の社会構成において、近年人口が急増している「ヒスパニック」と呼ばれる人々についての説明として、正しいものはどれですか。(2026年 茨城公立入試 類似)
1. メキシコや中南米諸国から移住したスペイン語を話す人々で、サンベルトなどの労働力を支えている。
  2. 白豪主義の影響によりオーストラリアから移住した人々で、英語を公用語として用いている。
  3. アジアの経済特区から移住した人々で、主にニューヨークなどの大都市で金融業に従事している。
  4. カリブ海の島々からハリケーンを避けて移住した人々で、フランス語を第一言語としている。
- 問4 アメリカ合衆国の太平洋側に位置するサンフランシスコ郊外には、大学や研究機関が数多く集まり、インターネット関連の技術開発が盛んな地域があります。世界的な情報技術産業の拠点となっているこの地域の名称を次の中から選びなさい。(2023年 福島県公立入試 類似)
1. シリコンバレー
  2. デトロイト
  3. ヒューストン
  4. ニューオーリンズ
- 問5 アメリカ合衆国の経済・社会指標の特徴について、地理的条件や産業の背景を踏まえて説明したものと、最も適切なものはどれですか。(2024年 山形公立入試 類似)
1. 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。
  2. 1人あたりの国民総所得は世界最高水準であるが、省資源化が進んでいるため、年間の総発電量は日本の約半分程度に抑えられている。
  3. 広大な国土全域に人口が密集しているため人口密度が極めて高く、それが巨大な国内市場を形成して国民総所得を押し上げている。
  4. 工業化が遅れているため、発電量はインドやエジプトなどの新興国を下回っているが、1人あたりの国民総所得だけが突出して高い。
- 問6 アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置する温暖な地域では、1970年代以降に航空宇宙産業やコンピュータ関連などの先端技術産業が急速に発達しました。この地域を何と呼びますか。(2019年 大分県公立入試 類似)
1. サンベルト
  2. スノーベルト
  3. シリコンバレー
  4. ラストベルト
- 問7 アメリカ合衆国がとうもろこしなどの農産物を大量に生産し、世界市場へ輸出できる背景には、広大な国土を活かした農業経営の特徴があります。その特徴を説明したものと、最も適切なものはどれですか。(2023年 山口公立入試 類似)
1. 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業
  2. 限られた土地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大化する集約的な農業
  3. 季節ごとに異なる作物を同じ土地で交互に栽培し、地力の消耗を抑える三圃式農業
  4. 森林を焼き払った後の灰を肥料として利用し、数年ごとに栽培場所を移動する移動式焼畑農業
- 問8 日本とアメリカ合衆国の農業を比較した際、アメリカの農家1人あたりの農地面積は約170ヘクタールと日本の約45倍に達しています。このような広大な農地で行われるアメリカの農業経営の特色を説明したものと、最も適切なものはどれか。(2021年 岐阜公立入試 類似)
1. 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営
  2. 限られた平地に多くの労働力を投入し、単位面積あたりの収穫量を最大限に高める労働集約的な農業経営
  3. 都市近郊の狭い土地を利用し、ビニールハウスなどの施設を用いて付加価値の高い作物を育てる農業経営
  4. 家族中心の少人数で、複数の作物を少しずつ栽培することで自給自足を旨とする小規模な農業経営
- 問9 北アメリカに位置するカナダは、かつてイギリスとフランスの植民地であった歴史的背景を持っています。この背景から、現在カナダが公用語として認めている2つの言語の組み合わせとして正しいものを選んでください。(2024年 山梨公立入試 類似)
1. 英語とスペイン語
  2. 英語とフランス語
  3. フランス語とスペイン語
  4. 英語とドイツ語
- 問10 世界を六つの大きな地域に区分する「六大州」という考え方において、北半球に位置し、広大な国土を持つアメリカ合衆国やカナダなどの国々が含まれる州の名称を次から選びなさい。(2023年 石川公立入試 類似)
1. 北アメリカ州
  2. 南アメリカ州
  3. オセアニア州
  4. ユーラシア州
- 問11 北アメリカ大陸に位置するアメリカ、カナダ、メキシコの3カ国間で結ばれた経済協力の枠組みについて、加盟国の総面積が約2178万平方キロメートルと広大で、貿易額がEU（欧州連合）に次ぐ規模を誇る組織の名称を次から選びなさい。(2018年 兵庫公立入試 類似)
1. NAFTA（北米自由貿易協定）
  2. ASEAN（東南アジア諸国連合）
  3. MERCOSUR（南米南部共同市場）
  4. APEC（アジア太平洋経済協力会議）
- 問12 アメリカ合衆国において、北緯37度より南側に位置する温暖な地域では、1970年代以降、コンピュータや航空機、宇宙産業などの先端技術（ハイテク）産業が急速に発達しました。この地域の呼称として適切なものはどれですか。(2018年 富山県公立入試 類似)
1. サンベルト
  2. スノーベルト
  3. シリコンバレー
  4. ラストベルト
- 問13 アメリカ合衆国のカリフォルニア州では、家庭内で英語以外の言語を話す人のうち、約半数にあたる49%がラテンアメリカ出身者が占められています。このような人口構成を背景に、カリフォルニア州の公共施設や日常生活において、英語とともに広く使用されている言語として適切なものはどれですか。(2026年 広島公立入試 類似)
1. スペイン語
  2. ポルトガル語
  3. フランス語
  4. アラビア語

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 メキシコなどの近隣諸国からスペイン語を話す移民が流入し、生活圏において英語とスペイン語が併記されるなどの文化的な影響が見られる。	アメリカ合衆国ではヒスパニックと呼ばれる人々が増加したことで、看板や放送、商品パッケージなどに英語とスペイン語の両方が表記されるケースが増えるなど、多文化共生の一側面が強く表れています。彼らは単純労働だけでなく幅広い産業に従事しており、アメリカの経済・社会に不可欠な存在となっています。
問2	答え 1 温暖な気候を利用して綿花の栽培が盛んに行われ、コットンベルトと呼ばれている。	アメリカ合衆国南部は温暖な気候が続くため、綿花の栽培に非常に適しています。この地域は歴史的にも「コットンベルト」として発展してきました。小麦地帯やコーンベルト（とうもろこし地帯）は、より北側に位置する中西部の平原に広がっており、酪農地帯はさらに北東部の五大湖周辺などの冷涼な地域に位置しています。このように各地域の気候特性に合わせて栽培される作物が分かれています。
問3	答え 1 メキシコや中南米諸国から移住したスペイン語を話す人々で、サンベルトなどの労働力を支えている。	ヒスパニックは、メキシコを含む中南米のスペイン語圏から移住してきた人々やその子孫を指します。地理的に近いアメリカ南部を中心に、農業やサービス業、先端技術産業の製造現場など、アメリカの経済を支える重要な労働力となっています。近年ではアフリカ系アメリカ人の人口を上回り、アメリカで最大のマイノリティ（少数派）グループとなっています。
問4	答え 1 シリコンバレー	サンフランシスコ近郊のシリコンバレーは、スタンフォード大学などの有力な教育研究機関が隣接しているため、優秀な人材や最新の技術が集まりやすい環境にあります。これにより、インターネットに関連したソフトウェアや半導体などの情報技術産業（ICT）が飛躍的に発展しました。
問5	答え 1 世界最大の経済規模を背景に、1人あたりの国民総所得と発電量はともに極めて高いが、広大な国土を持つため人口密度は日本よりも低い。	アメリカ合衆国は高度に工業化された世界最大の経済大国であり、国民の豊かな生活水準を示す「1人あたりの国民総所得」や、産業・家庭での膨大なエネルギー消費を示す「発電量」において、世界でも際立って大きな数値を示します。一方で、日本の約25倍という広大な国土面積を持つため、総人口は多いものの、単位面積あたりの人口を示す「人口密度」は、日本などの島国と比較すると低い値（約36人/km <sup>2</sup> ）になるのが地理的な特徴です。
問6	答え 1 サンベルト	北緯37度を境界として、アメリカ合衆国の南部に広がる地域を指します。温暖な気候、安価な労働力、広大な土地などを背景に、従来の重工業中心の北東部（スノーベルト）に代わって、航空宇宙や電子機器などの先端技術産業（ハイテク産業）の拠点として成長しました。
問7	答え 1 広大な農地に大型機械を投入し、少ない労働力で効率的に生産を行う企業的な農業	アメリカ合衆国の農業は、各地域の気候や土壌に適した作物を栽培する「適地適作」が行われていることが大きな特徴です。特に、一戸あたりの耕地面積が非常に広く、航空機による農薬散布や大型トラクターなどの高度な機械化が進んでおり、これを「企業的な農業」と呼びます。この高い生産効率が、世界市場への大量輸出を可能にする要因となっています。
問8	答え 1 広大な土地に大型機械やかんがい施設を導入し、少ない労働力で効率よく生産を行う大規模な農業経営	アメリカ合衆国では、1戸あたりの農地面積が極めて広いこと、飛行機による種まきや大型機械の導入、さらにはセンターピボットのような大型のかんがい施設を活用することで、人手をかけずに大量の作物を生産する「企業的な農業」が行われています。これに対し、日本のように限られた土地に多くの手間をかける方式は労働集約的と呼ばれ、アメリカの方式とは対照的です。
問9	答え 2 英語とフランス語	カナダは歴史的にイギリスとフランスの双方に植民地化された経緯があり、現在もこの2つの言語を対等な公用語として定めています。公共施設や商品のパッケージ、道路標識などにおいて、両方の言語が併記されているのが大きな特徴です。また、多様な民族の文化を尊重する多文化主義（マルチカルチュラルイズム）を世界に先駆けて国家の方針として採用しました。
問10	答え 1 北アメリカ州	世界を六大州（アジア、ヨーロッパ、アフリカ、北アメリカ、南アメリカ、オセアニア）に分ける際、北半球に位置し、北アメリカ大陸を中心とする地域を北アメリカ州と呼びます。この州にはアメリカ合衆国やカナダ、メキシコなどが含まれます。
問11	答え 1 NAFTA（北米自由貿易協定）	アメリカ、カナダ、メキシコの3カ国は、1994年に貿易の自由化を目指してこの協定を締結しました。広大な国土を持つ3カ国が連携することで、北米地域は世界でも有数の巨大な経済圏を形成しています。なお、現在はUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）という新たな枠組みへと更新されています。
問12	答え 1 サンベルト	北緯37度を境界線とした南側の地域は、日照時間が長く温暖であることから「太陽の帯」を意味する言葉で呼ばれるようになりました。1970年代以降、それまで工業の中心だった北東部から、気候が良く安価な労働力が得られるこの地域へ、先端技術産業の拠点が移り変わっていきました。スノーベルトは北東部の寒冷な地域を指し、シリコンバレーはサンベルト内の一部（カリフォルニア州北部）にあるハイテク産業の集積地を指します。
問13	答え 1 スペイン語	カリフォルニア州はメキシコと国境を接しており、地理的に近いラテンアメリカからの移住者が非常に多いため、ヒスパニックの母語であるスペイン語が広く浸透しています。ラテンアメリカ諸国は、ブラジル（ポルトガル語）を除き、その多くがスペイン語を公用語としているため、アメリカ国内でもスペイン語による放送や標記が一般化しています。